



見守り隊をとおして
地域が交流できる
まちづくりを

敦賀西小学校PTA会長
西小見守り隊 隊長 丸岡 樹善 氏

Pick up 文部科学大臣表彰受賞

「西小見守り隊」の取り組み

「西小見守り隊」は、今年度、学校の保健・安全に功績のあった団体を表彰する文部科学大臣表彰を受賞しました。受賞は県内2例目で市内では初の快挙。地域全体で子どもたちの安全のため活動を行っている西小見守り隊について、隊長を務めるPTA会長の丸岡樹善さんと結成時から見守り隊を引っ張る下野郁尚さんにお話を伺いました。

結成のきっかけを
教えてください

【下野】平成16年の「西小と地域と語る会」で、当時の校長先生から「子どもたちを守る組織を作ってもらえないか」と話がありました。私は民生委員児童委員の主任児童委員をしていたこともあり、「子どもの通学時の安全を守るため何か考えよう」と発言しました。その後、地区の民生委員児童委員の会議で見守り活動を行うことが決まり、平成17年5月に、民生委員児童委員の18人で「西小見守り隊」がスタートしました。その後PTAなどを巻き込んで組織の輪を大きくし、区長会や区民の協力を得て、平成19年3月に、現在のPTAと民生委員児童委員が中心となった「西小見守り隊」が結成されました。隊員は当時で250人弱まで増えていました。

西小見守り隊の
活動内容は？

【下野】毎日の通学時間帯に各交差点や危険な箇所立って、子どもたちが安全に登下校できるように見守っています。また民生委員児童委員は週に2回ほど、学校から各方面まで児童を送っていきま。曜日によっては学年で下校時間差があるので、3時に送っていき、また4時に学校に向かうこともあります。

【丸岡】西小見守り隊の活動は、地域の高齢者の皆さんの協力によって支えられています。PTAの親たちに共働きの家庭が多いため、大変ありがたい存在となっています。

また、組織体制がしっかりしており、定期的に曜日と時間帯、場所を設けて役割分担を決めています。「いつ・誰か・どこに行くか」という計画をしっかり立て活動を長く続ける工夫をしています。

日々の活動で
嬉しいことは何ですか？

【下野】子どもたちと友達になりパワーをもらえることです。「おっちゃん今日も元気か？」と声をかけられたり、ハイタッチをしたり、学校や家庭でのことを楽しく話してくれる子どもたちもいます。

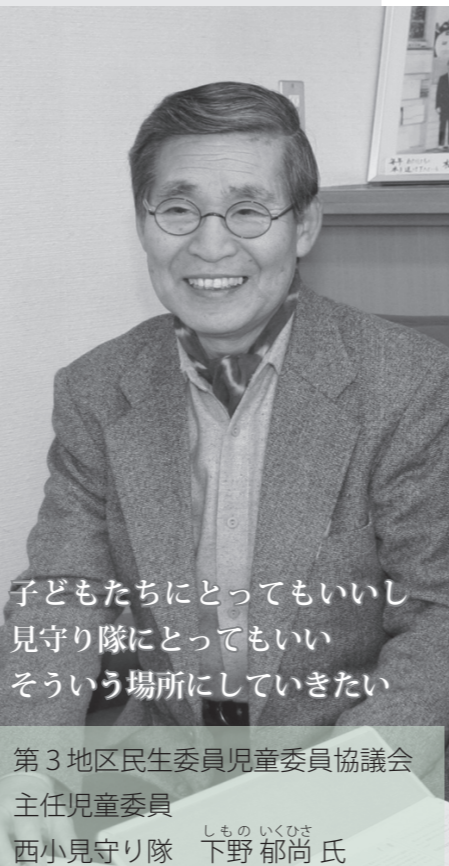


▲文部科学大臣表彰の賞状

最後に今後の目標を
教えてください

【丸岡】今の課題は、隊員の拡大です。高齢化で引退する隊員が増えており、現在の隊員は125人。平成19年の結成時にくらべ約半分になってしまいました。今のままだと個人の負担が増えていくので、今回の受賞をきっかけに、子ども地域の人を巻き込んで、子どもたちをずっと見守っていけるよう組織強化をしていきたいと思っています。

【下野】私の目標は、これからも見守り隊として「自分も元気にあって、子どもたちも元気にしてあげること」。そのためには、やはり隊員の拡大が重要。子どもたちが安心して通学できるようにこれからも毎日の活動と隊員の拡大に頑張っていきたいです。



子どもたちにとってもいいし
見守り隊にとってもいい
そういう場所にしていきたい

第3地区民生委員児童委員協議会
主任児童委員
西小見守り隊 下野 郁尚 氏



子どもたちを
見守る
地域の輪

～地域で活躍する見守り隊～

毎日、子どもたちの通学時間に合わせて路上に立ち、交通事故や犯罪から子どもたちを守る「見守り隊」。今月号では、雨の日も雪の日も毎日、子どもたちの安全のため活動する見守り隊について紹介します。

近年、全国各地で子どもたちを狙った犯罪が相次いで発生し、大きな社会問題となっています。そうした中、子どもたちを守るべく、見守り隊をはじめとした自主防犯組織が、平成17年ごろから各小学校区の自治組織などで結成され始めました。

広がる見守りの輪

見守り隊は、朝と夕方の登下校時に交差点や地域の危険な場所に立ち、交通事故や不審者などから子どもたちの安全を見守る活動を行っています。

現在では、見守りの輪が広がり、市内の小学校で約800人が見守り隊として活躍しています。

安心なまちに

見守り隊の隊員は、蛍光色のジャンパーやタスキ、腕章などを身に付けており一目で分かります。その効果は、犯罪の抑止力になり、地域安全の第一歩と

地域内のつながり

さらに、子どもたちは毎日見守り隊と顔を合わせているので、失われつつある地域内での交流も生まれています。登下校時に、「地域のひと顔を合わせあいさつをする」。こんな当たり前のことが少なくなってきた中で、地域の人々をつなぐ貴重な存在となっています。

隊員の高齢化と減少

しかし、見守り隊にもさまざまな課題があります。結成から数年が経過した今、高齢化が進み隊員数が減少してきています。

これからも地域で子どもたちを見守り育てるために、地域全体が一丸となり見守りの輪を広げていきたいと思います。